

## 人権を守る市民集会

1月16日土曜日に、千曲市と千曲市教育委員会の主催により、「人権を守る市民集会」があんずホールで行われました。

更級小学校、更埴西中学校、屋代南高校の児童・生徒のみなさんの実践発表と山本コータローさんの講演会がありました。この集会の最後には、「集会宣言」が発表され、千曲市では、市民が互いの人権を大切にすることが確認されました。

更埴西中学校の実践発表では、人権教育強調月間で学んだことや学習を終えて日頃感じていることを、生徒会正副会長の川端太智君、大平智也君、石井七海さんが更埴西中学校の発表者として実践発表をしてくださいました。代表として、生徒会長の川端太智君の発表内容を掲載します。

### 「人権とは何か」

千曲市立更埴西中学校 川端太智

（発表の要旨）私は、今まで「人権」というものに深く理解ができていたかというところではなかったように思います。しかし、今まで考えてきた「人権」とは、人を守るものという浅い考えだったように思います。

そこで、まず、辞書を引いてみました。そこには、「人間が生まれたときから持っている生命・自由・平等などを侵されない権利」と書かれています。つまり、誰もが持っている権利だということがわかります。それは、みながつ「命」と何ら変わりがなものだと思いました。ですから、「いじめ」、「差別」、「虐待」といったものは、人権侵害していることではなく、命を粗末にしていることと同じなのです。

私は、生徒会役員選挙の時に、更埴西中学校を笑顔の花で満開にするために、「全校スマイル活動」を実施していきたいと宣言しました。しかし、悲しい気持ちをしている人がいたら、簡単には笑顔にはなれません。ですから、全校一人ひとりが、人権に対して真剣に向き合い、悲しい思いをしている人に寄り添う行動が重要だと思います。そのためには、一人ひとりにとって必要不可欠なのが「想像力」だと思います。例えば、悩んでいる友達があります。この友達には、どんな言葉がけをすればよいのかを想像するのです。

しかし、自分と育ってきた環境が違う人の気持ちを自分事に想像することは、決してたやすいことではありません。でも、「自分がその立場だったら・・・」と想像することはできます。「もし、自分がこんなことを誰かにされたらどんな気持ちになるだろうか?」「自分が辛い時、友達にこんな言葉をかけられたらうれしいかもしれないな。」やはり、大切なのは、「想像力」です。自分がされていやなこと、自分がされてうれしいこと。それらを想像するのです。それらを想像するだけで、集団生活の中で、自分がとるべき言動がみえてくるはずですよ。

僕は、「いじめ」や「差別」が起こるのは、「想像力の欠如」がその要因の一端にあると考えます。「いじめ」や「差別」がなくみんなが楽しく過ごしている時間を想像してみてください。世界中の全ての子どもが、「戦争」がなく、平和で安全で笑顔で過ごせる世界を創造してみてください。

私が望む未来…それは、世界から「いじめ」「差別」「虐待」そして「戦争」がない世界です。そのためにも、私たちには、自分の身近なところからやれることが必ずあるはずですよ。



